

企業版ふるさと納税とは？

企業版ふるさと納税は、地方創生につながる地方公共団体の事業に対して企業が寄附を行った場合、その寄附額の「最大9割」が税軽減される仕組みです。これにより、企業の実質負担は約1割まで圧縮されます。



最大9割軽減！

寄附の要件

- 砺波市内に本社が所在する企業は対象となりません。
- 1回あたり10万円以上の寄附が対象となります。
- 寄附を行うことの代償として経済的な利益を受け取ることは禁止されています。

物納による企業版ふるさと納税

物品による寄附もお受けしており、現金による寄附と同様に、税軽減の対象となります。市の地域再生計画に関連する物品であるなど、いくつか条件がありますので、下記担当までご相談ください。

寄附で得られるベネフィット

感謝の印として、砺波市より寄附額に応じたお礼をさせていただきます。

- 1 10万円～の寄附**
 - 市ホームページにてご紹介
 - お礼状(郵送)
- 2 100万円～の寄附**
 - 市ホームページにてご紹介
 - 感謝状贈呈式の開催

※ベネフィットは希望される企業様に対し実施するもので、必須ではございません。

お問い合わせ

砺波市企画総務部
企画政策課

〒939-1398 富山県砺波市栄町7番3号
TEL/0763-33-1145
Email/kikaku@city.tonami.lg.jp

一輪の支援が、まちを咲かせる。

企業版ふるさと納税 富山県砺波市

庄川と散居が織りなす花と緑のまち、砺波。
この未来をともに支えていただける企業様を募集しています。

砺波市を応援することで、企業価値の向上につながります

最大約9割の 税軽減

寄附額の最大約9割が
法人関係税から軽減。
社会貢献と経営戦略を両立。

企業ブランドの 向上

市HPや感謝状贈呈式を
通じた広報を実施。
企業様のPRに。

SDGs・ESG寄与による 社会貢献

SDGs・ESG経営の
具体的な実践事例として、
活用可能。



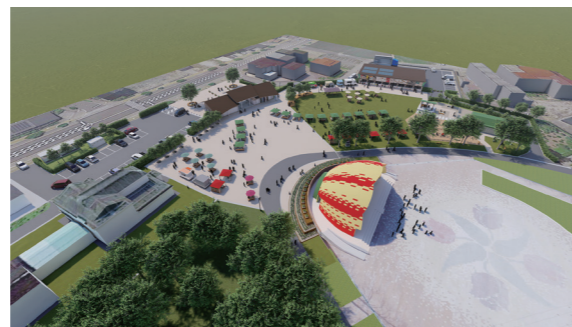
砺波市が取り組む未来づくりのプロジェクト

砺波市が今、特に力を入れている事業を紹介します。この他にも寄附の対象となる地方創生事業を行っていますので、寄附を希望される分野や事業などについてご要望やお考えがございましたらお気軽にお問い合わせください。

1 これからも愛されるチューリップ公園に向けて 砺波チューリップ公園再整備事業

北陸最大の花のイベント「となみチューリップフェア」のメイン会場である当公園は、整備から50年が経過しました。施設の老朽化や段階的な敷地の拡大によって施設の接続性や連続性に不十分な箇所が見られることから、「砺波チューリップ公園再整備基本計画」を策定し、公園全体の見直しを行っています。

花や緑、豊かな水を生かし、自然や文化に親しみながら安全・安心で安らげる場所となるよう再整備を進めてまいりますので、温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。



2 「やっぱり”砺波”がいいよね」選ばれるまちを目指して となみ暮らし応援プロジェクト

本市の人口が2005年をピークに緩やかに減少しているなか、住みよいまち砺波を実感し、選び、住み続けていただくため、「となみ暮らし応援プロジェクト」に取り組んでいます。

これには、転入若者世帯や子育て世帯の住宅取得費用を補助する「住宅取得支援事業」や、三世帯同居や三世帯近居のための新築工事等を補助する「三世帯同居・近居住宅支援事業」、空き家情報バンクに登録のある空き家の利活用を支援する「定住促進空き家利活用事業」などがあります。

今後も「やっぱり”砺波”がいいよね」と言ってもらえるよう取組を進めます。



3 まちの宝を未来へ、つなぐ 文化財保存活用推進事業

① 増山城跡は国指定史跡であり、「続日本100名城」に選定されたことで注目が高まり、来訪者が増えています。一方で、城跡内にはマスマスギをはじめとした樹木が生い茂り、見通しが悪く、景観や安全面での課題が生じています。城跡中心部の間伐や枝打ちといった森林整備を進め、より魅力的で安全な増山城を目指します。

② 豊稔を喜び、実りに感謝する祭り「獅子舞」、地域の財産として親しまれ大切にされている「ふるさと文化財」。これら地域の宝を未来へ継承するため、「獅子舞マップ」や「登録ふるさと文化財標柱」を整備します。デジタルコンテンツ、これまでの歴史資料調査をまとめた「調査報告書」なども活用しながら、文化財の保存活用に取り組めます。



4 子どもたちが、いつでも、どこでも、本を読む喜びを 「子どもたちの身近に読書」推進事業

砺波図書館は開館5周年を迎え、来館者が100万人を超えるなど多くの方に利用されてきました。子どもたちにもっと読書を楽しんでほしい、その思いから市内小中学生が電子書籍を読むことができる仕組みを導入しました。子どもたちは、学校で利用するタブレット端末から電子書籍を利用できるようになり、朝読書や授業のすきま時間、学童保育や家庭でも利用されています。

富山県内でも先進的な読書の取組を今後も進めます。



ともに輝き支えあう“人づくり”
なごやかな暮らしを育む“安心づくり”
みらいに活力をつなげる“まちづくり”

